

公表：平成 31 年 1 月 31 日

事業所名 伊勢崎事業所

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	3		支援用個室に備品が収納されている為、収納場所の確保と整理整頓を行い、安心して使用できるよう改善します。
	②	職員の配置数は適切である	5	1		職員の配置数は適切ですが、業務改善を行い、より安心な配置にします。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	3	施錠により部屋を区分する等して、支援を行っています。	設備上、子供が使いやすく構造化されていないので、流し台の高さなどを工夫します。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	3	3	広い空間を利用した活動を行っています。	掃除の行き届いていない部分を改善します。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4	2		言語の異なるスタッフ間のよりよい情報共有の対応策を講じます。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	0	6		保護者の意向を反映できるよう努めます。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	0	6		公開します。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	6		必要に応じて第三者評価の導入について検討します。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	2	4		研修の機会を多く設けます。
適切な支	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	3	3	NC・SDQ を利用しています。	より良いアセスメントツールにより、適切に状況把握と課題発見、ニーズの設定に努めます。

援 の 提 供	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	3	NC・SDQ を利用しています。	アセスメントツールを使用しています。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3	3	発達に合わせて、個別療育・集団療育の提案を行っています。	「発達支援」「家族支援」「地域支援」の区別なくまた、サービス外の相談も受けているので、ガイドラインをもとに、適切な連携機関へのリファール等を含めて支援内容についての視野を広げます。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4	2		受け入れ時の支援目標が抽象的である児童も見られ、具体的な目標設定を検討します。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	2	4	ミーティングを行っています。	言語の異なるスタッフ間のよりよい情報共有への対応策を講じます。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	3		新規プログラム等の検討をします。時間的・物的課題について検討します。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	6	0	保護者のニーズに合わせて療育を行っています。	児童によって、より適切な支援を提供できるよう、より一層の向上を目指します。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	1	5		言語の異なるスタッフ間の情報共有について、更に配慮していきます。パート職員と打ち合わせ時間の工夫をします。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	4	ノートを活用して行っています。	言語の異なるスタッフ間の情報共有について、更に配慮していきます。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	3		検証・改善の共有について、通訳対応を講じます。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6	0		定期的に支援の評価・見直しを行いより一層の向上を目指します。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0		児童発達管理責任者・担当指導員が参加しています。
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	2		専門機関へ相談されるべき内容も受けることもあるため、必要に応じて、連携や対応を図ります。
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	4	2		専門機関へ相談されるべき内容も受けることもあるため、必要に応じて、連携や対応を図ります。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	4	2		専門機関へ相談されるべき内容も受けることもあるため、必要に応じて、連携や対応を図ります。
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	0	6		現在該当事例はありませんが、積極的に行っていきます。
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	0	6		現在該当事例はありませんが、積極的に行っていきます。
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	3	研修に参加しています。	今後、機会を増やします。
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	6		現在そういった機会はありませんが、保護者の意向に沿って検討します。

	㉘	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	6		積極的な利用を検討します。
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	2		児童の発達等に係る情報共有は速やかに行い共通理解を得られるよう努めます。
	㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	4		発達支援センター等関係機関と連携して支援を行います。

保護者への説明責任等	⑳	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	2	4		ポルトガル語で契約書を読み上げていますが、詳細を説明するために通訳や翻訳等の対応を講じます。
	㉑	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	0		適切な手順で支援計画を作成し、保護者に説明し同意を得ています。
	㉒	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	1		随時行っていますが、今後、定期的な場の設定を検討します。
	㉓	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	1	イベント日が懇談会を兼ねる形となっています。	定期的な場の設定を検討します。
	㉔	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	日常的に送迎変更・療育時間変更・相談など行っています。	相談は丁寧に迅速かつ適切に対応して、より一層の向上を目指します。
	㉕	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	3		ブログやフェイスブック等を利用し、定期的な発信について検討を行います。
	㉖	個人情報の取扱いに十分注意している	2	4		個人情報の取り扱いには十分注意していますが、誤解を生じることのないよう徹底します。
	㉗	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	1		言語の違いを考慮して情報共有について、更に配慮をしていきます。
	㉘	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	5	ブログ・フェイスブックを発信しています。	イベント開催時にボランティアも含め地域住民の参加について検討します。
	非常時等	④	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	2	

の 対 応	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0		集団療育のみ行っていたので、今後、個別療育でも実施します。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4	2	服薬情報の保管と、口頭での説明をしています。	医療的ケアについて状況を確認します。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	0	アレルギー情報の保管と、口頭での説明をします。	アレルギーについての情報共有を行います。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0		言語の違いを考慮して情報共有について、更に配慮をしていきます。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	虐待防止マニュアルの一部分を、ポルトガル語に翻訳して勉強会を行いました。	外部研修の機会等も利用し、積極的に参加します。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	0		マニュアル・ガイドラインに沿って適切に対応しています。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 保護者等からの事業所 児童発達支援 評価の集計結果 (公表)

公表：平成 31 年 1 月 31 日

事業所名 伊勢崎事業所 保護者等数 (児童数) 15 回収数 15 割合 100 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	9	2	4		支援室が狭い。自然環境が欲しい。	支援用個室に備品が収納されているため、収納場所の確保と整理整頓を行い、安心して使用できるよう改善します。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	11	1	3		言語療育の指導員を増やして欲しい。	職員の配置数は適切ですが、業務改善を行い、より安心な配置にします。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	13	0	2		もっと広くて欲しい。綺麗だが快適とは言えない。	設備上、子供が使いやすい構造化されていないので、流し台の高さなどを工夫します。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	13	0	2			掃除の行き届いていない部分を改善します。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	14	0	1			保護者の意向を反映できるよう努めます。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	13	2	0		利用日数を増やして欲しい。更に家族支援をして欲しい。	「発達支援」「家族支援」「地域支援」の区別なくまた、サービス外の相談も受けているので、ガイドラインをもとに、適切な連携機関へのリファー等を含めて支援内容についての視野を広げます。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	15	0	0			受け入れ時の支援目標が抽象的である児童も見られ、具体的な

							目標設定を検討します。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	13	2	0		新規プログラム等の検討をします。時間的・物的課題について検討します。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	9	0	6	土・日の開所を利用して機会を設定して欲しい。	現在そういった機会はありませんが、保護者の意向を善処し検討します。
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14	0	1	もっと説明して欲しい。銀行引き落としの説明がわからない。	ポルトガル語で契約書を読み上げていますが、詳細を説明するために通訳や翻訳等の対応を講じます。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	13	2	0	運転手・通訳者が必要。	言語の問題について更に配慮して、保護者に説明します。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	12	3	0		発達支援センター等関係機関と連携して支援を行います。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	14	0	1		児童の発達等に係る情報共有は速やかに行い共通理解を得られるよう努めます。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14	1	0		随時行っていますが、今後、定期的な場の設定を検討します。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	14	0	1	父親への支援をして欲しい。	現在個人対応となっているので、ブログやフェイスブック等を利用し、定期的な発信について検討を行います。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	9	6	0		相談は丁寧に迅速かつ適切に対応して、より一層の向上を目指します。

	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13	1	1	モニタリングで説明される。毎回して欲しい。	言語の違いを考慮して情報伝達について、更に配慮をしていきます。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	13	0	2	発信はしている。	現在個人対応となっているので、ブログやフェイスブック等を利用し、定期的な発信について検討を行います。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	14	1	0		個人情報の取り扱いには十分注意していますが、誤解を生じることのないよう徹底します。
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	7	3	5	受け取っていない。	対策を行っていますが、不十分なこともあるため、今後、さらに研修及び訓練を積極的に行います。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	4	6	まだ行われていない。	集団療育のみ行っていたので、今後、個別療育での実施も行います。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	11	1	3		事業所全体で、より一層の支援の向上を目指します。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	13	1	1	もっと支援を増やして欲しい。支援の様子を知りたい。責任者とのコミュニケーションが難しい。	保護者の見学を積極的に受け入れます。言語の違いを考慮して情報伝達について、更に配慮をしていきます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。